

電車運賃の認可及び運賃改定の実施について

鹿児島市交通局では、平成29年11月15日、九州運輸局長あての軌道事業の旅客運賃の変更認可申請を行っておりましたが、本日、平成29年12月14日に申請どおりの内容で認可を受けました。

これを受け、本日、お客様から実際に收受する実施運賃について届出・報告を行ったところであり、軌道の定期旅客の運賃を平成30年1月1日から改定いたします。

ご利用の皆様にはご負担をおかけいたしますが、何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. 改定の内容

(1) 実施日

平成30年1月1日(月)

(2) 改定の概要

【軌道】

定期旅客運賃(大人)

| 区分 | | 現行 | 改定 | 改定率 |
|------|-----|---------|---------|-------|
| 通勤 | 1ヶ月 | 6,720円 | 7,140円 | 6.25% |
| | 3ヶ月 | 19,150円 | 20,350円 | 6.27% |
| 通学 | 1ヶ月 | 4,800円 | 5,100円 | 6.25% |
| | 3ヶ月 | 13,680円 | 14,540円 | 6.29% |
| 通勤通学 | | 8,160円 | 廃止 | |
| 全線 | | 13,440円 | 廃止 | |

適用条件

| 区分 | 現行 | 改定 |
|----|---------------------|----------------------------|
| 通勤 | 旅客が必要とする区間 | 全ての区間又は旅客が必要とする区間 |
| 通学 | 旅客の通学若しくは通園に必要とする区間 | 全ての区間又は旅客の通学若しくは通園に必要とする区間 |

(3) 増収率一覧

| 定期 | | 合計 | 平年度(平成30~32年度)合計の現行と改定の収入額で対比したもの。 |
|-------|-------|-------|------------------------------------|
| 通勤 | 通学 | | |
| 5.08% | 6.25% | 5.60% | |

2. 軌道部門収支の実績及び推定

(単位:千円)

| 項目 | 平成28年度 (実績) | 平成30~32年度(3年間合計) | |
|-----|----------------|------------------|-----------|
| | | 現行 | 改定 |
| 収入 | 1,884,344 | 5,882,335 | 5,922,903 |
| 支出 | 1,753,869 | 6,035,158 | 6,035,141 |
| 差引 | 130,475 | ▲ 152,823 | ▲ 112,238 |
| 収支率 | 107.4% | 97.5% | 98.1% |

3. 運賃収入内訳

(単位:千円)

| 項目 | 平成28年度 (実績) | 平成30~32年度(3年間合計) | |
|-----|----------------|------------------|-----------|
| | | 現行 | 改定 |
| 定期外 | 1,170,669 | 3,610,831 | 3,610,831 |
| 定期 | 236,066 | 732,525 | 773,093 |
| 合計 | 1,406,735 | 4,343,356 | 4,383,924 |

4. 需要の見通し

(単位:千人)

| 項目 | 平成26年度 (実績) | 平成27年度 (実績) | 平成28年度 (実績) | 平成29年度 (推定) | 平成30年度 (推定) | 平成31年度 (推定) | 平成32年度 (推定) |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 定期外 | 8,326 | 8,560 | 8,466 | 8,546 | 8,616 | 8,710 | 8,756 |
| 定期 | 通勤 | 1,350 | 1,379 | 1,397 | 1,209 | 1,214 | 1,219 |
| | 通学 | 1,023 | 1,038 | 1,042 | 1,060 | 1,073 | 1,087 |
| | 計 | 2,373 | 2,417 | 2,439 | 2,269 | 2,287 | 2,306 |
| 合計 | 10,699 | 10,977 | 10,905 | 10,815 | 10,903 | 11,016 | 11,081 |
| 対前年度比 | 99.2% | 102.6% | 99.3% | 99.2% | 100.8% | 101.0% | 100.6% |

5. 設備投資実績・計画

(1) 設備投資実績と計画

(単位:千円)

| 項目 | 26年度 (実績) | 27年度 (実績) | 28年度 (実績) | 29年度 (計画) | 30年度 (計画) | 31年度 (計画) | 32年度 (計画) |
|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 安全運行の推進 | 1,854,255 | 351,524 | 142,835 | 375,028 | 530,808 | 388,197 | 309,899 |
| サービスの提供等 | 267,244 | 17,150 | 567,506 | 128,121 | 1,212,872 | 430,525 | 315,663 |
| 計 | 2,121,499 | 368,674 | 710,341 | 503,149 | 1,743,680 | 818,722 | 625,562 |

(2) 主要プロジェクトの内容

| | |
|-------|--|
| 事業の名称 | ①鹿児島駅前停留場整備事業 |
| 目的 | 停留場の拡幅等によるバリアフリー化や上屋及び電気設備などの改良を実施します。 |
| 効果 | JR鹿児島駅前整備と併せ停留場を整備することで、交通結節をはじめ、高齢者、車椅子・ベビーカー等多様なお客様の利便性が向上し、安全・快適に電車を利用できるようになります。 |
| 金額 | 764 百万円 |

| | |
|-------|---|
| 事業の名称 | ②郡元電停交差点等軌道改良事業 |
| 目的 | 交差点等の分岐器等の更換や接続軌道ブロック構造への変更など、軌道改良を実施します。 |
| 効果 | 電車走行の安全性を確保し、車両横断時の騒音や振動の低減が図られ、お客様の乗り心地が向上します。 |
| 金額 | 479 百万円 |

| | |
|-------|-------------------------------|
| 事業の名称 | ③渡り線その他分岐器更換事業 |
| 目的 | 老朽化した分岐器を更換します。 |
| 効果 | 電車通過時の安全性を確保し、お客様の乗り心地が向上します。 |
| 金額 | 178 百万円 |

| | |
|-------|--|
| 事業の名称 | ④き電線改築更新事業 |
| 目的 | センターポール下に埋設された、き電線の劣化状況等を調査し、改築・更新を行います。 |
| 効果 | 電圧の安定化が図られ、電車の定時性が確保されます。 |
| 金額 | 90 百万円 |

| | |
|-------|---------------------------------|
| 事業の名称 | ⑤谷山線電柱建替え及び電車線改良事業 |
| 目的 | 老朽化した電車線電柱の建替えや支持金具等の取替えを実施します。 |
| 効果 | 電車走行の安定性が向上し、電車の定時性が確保されます。 |
| 金額 | 250 百万円 |

| | |
|-------|---|
| 事業の名称 | ⑥ロケーションシステム等導入事業 |
| 目的 | 多言語対応のロケーションシステムを導入し、スマートフォン等に車両の接近情報などを提供します。 |
| 効果 | 渋滞等による遅延の不安解消や電車・バス等の円滑な乗換えを図り、市民や観光客等の利便性が向上します。 |
| 金額 | 9 百万円 |

| | |
|-------|---|
| 事業の名称 | ⑦超低床電車購入事業 |
| 目的 | バリアフリー化、老朽化車両の更新のため、超低床電車を導入(2両)します。 |
| 効果 | 車両更新により、バリアフリーの推進に加え、車両故障の低減など、さらに安定的で安全な運行となります。 |
| 金額 | 350 百万円 |

6. これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

経営健全化計画(平成22～28年度)の具体的方策に取り組むことで、費用面では、職員給与費や管理経費などにおいて、ほぼ毎年度、計画を上回る節減を図ってきました。

一方、収入面においては、各種増収対策や輸送サービスの向上に取り組んできましたが、交通手段の多様化や少子高齢化の進行などにより、毎年度のように計画に達しない状況が続いています。

これらの結果、収支については、費用の節減額を上回る収入の落ち込み等により、計画を下回る年度もあり、厳しい経営状況となっています。

また、資金残額については、長年、資金不足の状態が続いてきたものの、計画を上回る費用の節減に努めたことや遊休資産の売却等により、「各年度末における資金不足比率が経営健全化基準である20%を下回る」という計画目標を、全ての年度末で達成しています。

なお、計画期間内における重点的取組項目及び具体的方策については、下表のとおりです。

重点取組項目及び具体的方策

(1) 運行の効率化策

電車事業では、乗降客潮流調査やICカードの乗客数データを分析し、運行間隔等を見直すことにより、利用者ニーズに合った運行ダイヤの編成を行いました。

(2) 経営の効率化策

業務・組織体制の見直しや運行の見直し等による業務量の変動に応じ、適正な人員配置を行うとともに、職員の退職等に対しては、嘱託職員の割合を配慮する中で、欠員が生じないように正規職員のほか再任用職員及び嘱託職員を採用しました。

(3) 増収対策

ホテル等との連携による乗車券などの販売促進や、新たな広告媒体の提供等による収入の拡大、遊休資産の売却などに取り組みました。

(4) 経費削減策

年齢構成の若返りによる人件費の抑制や、惰行運転等による燃料費の削減、電車車体の板金塗装を局内で行うこと等による経費節減などに取り組みました。

(5) 輸送サービスの向上

平成28年度に実施した新型超低床電車2両の導入、車いす対応の電停拡充等によるバリアフリーの推進のほか、電停・バス停の上屋整備等による待合環境の整備などに取り組みました。

(6) 職員の資質向上

研修計画に基づき、外部講師による接客研修を実施したほか、乗務員はもとより事務職員や管理職員の研修についても積極的に実施しました。

(7) 長期借入金の返済の見直し

一般会計からの長期借入金を平成25年度末に借り換え、利率を見直すことで利息を削減し、平成28年度末には旧交通局跡地の売却益により、全額繰上償還しました。

精査中の計画原案に基づく経営健全に向けた取り組みを実施し、平成23年度に策定した経営健全化計画が28年度に最終年度を迎えたことから、引き続き経営改善に取り組むため、本年3月に「第二次鹿児島市交通事業経営健全化計画」を策定したところです。

経営の状況について、収入面では、経営の根幹である乗車料収入において、交通手段の多様化や少子高齢化の進行などにより、将来的には、減少する傾向に転ずることが見込まれ、一方、費用面では、経費節減に努める中、局施設移転・リニューアル事業に係る減価償却費の増加はもとより、今後は、交差点等の分岐器などの更替、接続軌道ブロック構造への変更等、軌道改良を実施する「郡元電停交差点等軌道改良事業」、「渡り線その他分岐器更替事業」などの安全対策や、停留場の拡幅等によるバリアフリー化、上屋及び電気設備などの改良を実施する「鹿児島駅前停留場整備事業」、老朽化した車両を更新し、バリアフリー化を図るための「超低床電車購入事業」など、快適で便利なサービス提供に対する経費への投資により、ますます増大する費用の負担が、本市交通事業の存続にも影響を及ぼすことも危惧され、経営基盤の充実・強化は喫緊の課題であることから、第二次経営健全化計画の目標達成に向け、次表に示す、重点取組項目と主な方策等に積極的に取り組み、交通事業の基本である安全輸送の確保と親切・丁寧な乗客サービスの提供に、局職員一丸となってこれまで以上に努めてまいります。

第二次経営健全化計画における重点取組項目と主な方策

(1) 安全・快適なサービスの提供

①安全運行の推進

○施設機能の維持・向上

電車の安定運行のため、軌道や架線を定期的に更新し機能を維持するとともに、メンテナンスしやすい環境整備を図ります。

○作業環境の効率性向上

車両整備や施設の維持管理を効率的かつ安全に行うため、老朽化が進んでいる施盤等を更新し、作業の精度と効率性を高めます。

②快適で便利なサービスの提供

○バリアフリーの推進

・ 超低床電車の導入

鹿児島市LRT整備計画に基づき、製造後60年以上過ぎた500形車両について、車両走行の安全性がより高く、バリアフリーに対応した超低床電車に更新します。

・ 電停のバリアフリー化の推進

市道唐湊線の歩道改良工事に合わせ、唐湊電停を拡幅し、車いすでの乗降を可能にします。

また、他のバリアフリー未対応の電停についても、道路管理者と連携し、道路改良工事等の機会を捉えて拡幅などに取り組みます。

・ 軌道改良の推進

軌道交差点等について、分岐器等の更換や軌道改良などにより、電車走行の安全性を確保し利用者の乗り心地の向上を図るとともに、車両横断時の騒音及び振動の軽減を図ります。

・ 鹿児島駅前停留場の整備

鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業によるJR鹿児島駅舎建替えにあわせた電停の整備に取り組むことで、交通の結節の機能強化と利便性の向上を図ります。

○待合環境の整備

・ 案内表示の充実

一般利用者や観光客など全ての人が利用しやすくなるように、車内や停留場等に分かりやすい路線図などの設置や、外国語表記の充実などに取り組みます。

・ 音声合成放送装置の更新

老朽化した音声合成放送装置を更新し、安定した運行を確保するとともに、車内案内放送をリニューアルし外国語に対応するなど、著しく増加している外国からの観光客を含め、すべての利用者が快適に利用できる環境を整備します。

(2) 運行の効率化

○電車運行の効率化

・ 利用実態に合わせたダイヤの検討

市街地を運行する基幹的な交通機関として、今後とも、利用者ニーズを踏まえながら適正な運行間隔となるようダイヤ編成に取り組みます。

(3) 経営基盤の充実・強化

○増収対策

・ 新たな定期券制度等の創設

市電の通勤定期券等による全線利用化を図るとともに、シニア定期券の創設などにより、利便性の向上を図ります。

・ 貸切電車の利用促進

平成28年度にリニューアルしたイベント電車の新たな魅力を積極的に発信するとともに、「かごでん」や「でんでん」など特色ある車両を含めてイベント企画事業者等へ重点的に周知・広報を行い、各種イベント等での利用を促進することにより増収を図ります。

(4) 公営交通事業者としての役割を踏まえた事業推進

○市のまちづくりとの連携

・ 観光施策との連携

観光電車の運行

観光客の利用頻度が最も高い鹿児島中央駅前電停を発着点として観光電車「かごでん」を運行します。

今後とも、観光ボランティアによる観光名所やお土産情報など地元ならではの車内案内を行うとともに、運行経路の見直しや「かごでん」を利用した新たなイベントの企画など、観光電車としての魅力をさらに増すことで利用者の増加を図ります。

7. 運賃料金の多様化の内容

【企画乗車券等】

| | |
|--------------|--|
| 一日乗車券 | 市電(全線)、観光レトロ電車、市バス、カゴシマシティビュー(周遊バス)を、一日中、何回でも乗り降りできる乗車券となっており、割安な料金で鹿児島市内を移動できることから、特に観光客に好評を得ています。 |
| 夏休み 子供乗車券 | 夏休み期間中、小・中学生及び高校生を対象に、市電(全線)、観光レトロ電車、市バス、カゴシマシティビュー(周遊バス)を何回でも乗り降りできる乗車券となっており、市内探訪や自由研究、夏期講習、オープンキャンパスへの参加など、夏休みの思い出づくりやスキルアップに活用いただき、好評を得ています。 |
| シニア 定期乗車券 | 65歳以上の方を対象とした、市電(全線)や市バスを割安の料金で利用できる定期券を新たに設定することで、買い物や友人宅への訪問、その他の外出を支援し、利便性の向上を図ります。 |

8. 利用者サービスの向上策

(1) バリアフリーの推進

① 鹿児島駅前停留場の整備

JR鹿児島駅前整備と併せ停留場の拡幅等によるバリアフリー化などを進めることで、交通結節をはじめ、高齢者、車椅子・ベビーカー等多様な利用者の利便性を向上させます。

② 超低床電車の導入

超低床車両の導入を進め、老朽化した車両を更新し、バリアフリー化を進めます。

③ 電停バリアフリー化の推進

唐湊停留場のホーム拡幅整備を行い、バリアフリー化を図ります。

(2) 待合環境の整備

① 案内表示の充実

ピクトグラム(絵文字)や外国語表記を活用した路線図等を表示し、一般利用者や観光客など全ての人が利用しやすい環境を整えます。

② 音声合成放送装置の更新

老朽化した音声合成放送装置を更新し、外国語に対応した車内案内放送へリニューアルするなど、一般利用者や観光客など全ての利用者が快適に利用できる環境を整備します。

③ ロケーションシステム等導入

多言語対応のロケーションシステムを導入し、渋滞等による遅延の不安などを解消し、一般利用者や観光客等の利用促進を図ります。

9. 情報へのアクセスについての情報

(1) 運賃改定申請に関するお問い合わせ先

総合企画課 営業係 電話099-257-2102 (営業時間 平日 8:30~17:00)※土日祝休み

(2) 運賃・路線など乗車券等に関するお問い合わせ先

交通局内乗車券発売所 電話099-257-2101 (営業時間 平日8:30~19:00 土日祝9:30~17:30)

(3) 鹿児島市交通局ホームページ

アドレス <http://www.kotsu-city-kagoshima.jp/>

【この資料に関するお問い合わせ先】

鹿児島市交通局

総合企画課 営業係

電話:099-257-2102

(営業時間:平日8:30~17:00)

※土日祝休み